

「さくらパス」を活用した医療と介護の連携（千葉県佐倉市）

- 千葉県の「認知症連携パスを活用した医療と介護の連携モデル事業」を佐倉地区医師会、地域包括支援センターや市の職員で構成する『佐倉市認知症地域ネットワーク医療介護連携推進協議会』が受託し「認知症の人を支える連携パス（試案）」（認知症連携パス）を活用しながら継続的で一貫した支援体制の構築を図るモデル事業を実施
⇒通称「さくらパス」として試行

《「さくらパス」の特徴》

【情報の整理】

ケアマネジャーなど

認知症の方とご家族が医療機関に受診する際の負担を軽減できるよう、地域包括支援センターの職員やケアマネジャーなどが情報を整理し、かかりつけ医に情報をつなぎます。

【情報を共有】

かかりつけ医

パスを受け取った、かかりつけ医は、診断結果や治療計画、今後必要となる介護福祉サービスについて、地域包括支援センターの職員やケアマネジャーなどに情報を返します。

【情報を連携】

専門医

かかりつけ医は、専門的な検査の依頼や症状が悪化した時に対応するため、認知症専門医との間でも、パスで情報を連携します。

佐倉市の認知症対策の全体像

○認知症予防の推進

- ・物忘れ相談の実施
- ・認知症予防講演会等の実施
- ・認知症予防教室（通所型）の推進・ボランティアの育成
- ・ボランティアを中心に行う地域型認知症予防プログラムの推進
- ・普及を目的とした各種認知症予防教室の実施

○理解の普及啓発

- ・講演会、広報等による啓発
- ・認知症サポーターの養成

○支援体制の整備

- ・認知症コーディネーター等の育成及び研修の実施
- ・医療と介護の連携
- ・地域資源マップの作成
- ・佐倉市SOS高齢者等事前登録事業の実施
- ・権利擁護事業
- ・成年後見制度利用支援



認知症にやさしい佐倉

地域包括ケアシステム構築に向けた取組事例

①市区町村名	佐倉市
②人口（※1）	175,652人 ()
③高齢化率（※1） (65歳以上、75歳以上それぞれについて記載)	65歳以上 25.10% () 75歳以上 9.97%
④取組の概要	佐倉市認知症地域連携ネットワークパス（通称：さくらパス）を活用した医療と介護の連携
⑤取組の特徴	認知症のかたの診断結果や治療計画などの情報を、本人や家族、ケアマネジャー、医療機関が共有するための情報連携シート（通称：さくらパス）を活用し認知症の早期発見・早期治療に役立てる
⑥開始年度	平成22年度
⑦取組のこれまでの経緯	平成22年度 千葉県認知症地域支援体制構築モデル事業の実施 平成23年度 市町村認知症総合推進事業の実施 平成24年度 千葉県「認知症連携パスを活用した医療と介護の連携モデル事業」
⑧主な利用者と人数	全市民
⑨取組の実施主体及び関連する団体・組織	市・佐倉地区医師会、地域包括支援センター、市の職員で構成する『佐倉市認知症地域ネットワーク医療介護連携推進協議会』
⑩市区町村の関与（支援等）（※2）	
⑪国・都道府県の関与（支援等）（※3）	平成22年度 千葉県認知症地域支援体制構築モデル事業 1,684,789円（決算額） 平成23年度 市町村認知症施策総合推進事業 2,163,000円（決算額） 平成24年度 千葉県「認知症連携パスを活用した医療と介護の連携モデル事業」 2,102,460円（決算額）
⑫取組の課題	・パスの普及
⑬今後の取組予定	・認知症に係る医療・介護職との合同研修と情報交換で支える人たちのスキルアップ ・将来を担う子供達を認知症サポーターに
⑭その他	
⑮担当部署及び連絡先	佐倉市福祉部高齢者福祉課包括支援班 043-484-6138

※1 一部地域に限定した実施の場合は、当該地域の人口・高齢化率を()内に記載してください。

※2 市町村から財政的支援が行われている場合には予算額等を含めて記載ください。

※3 国や都道府県から財政的支援を受けている場合は、補助金や交付金等の名称、額等を含めて記載ください。